

■幣原喜重郎 外交官。<第一次世界大戦>後に国際協調外交が軍部に阻まれ、<敗戦>直後に首相になると天皇制保持。

しではらきじゅうろう

学問のすすめ1872＝

堺県門真村(大阪府門真市)で次男に生れる。兄の坦は後に台北帝大総長。

明治6年政変 1873＝ 1歳：

明治14年政変1881＝ 9歳：

第三高等中学校を経て、

帝国憲法発布1889＝17歳：

帝国議会始・1890＝18歳：

大本教・・・1892＝20歳：帝国大学法科大学法律学科に入学、

日清戦争始・1894＝22歳：

日清戦争終・1895＝23歳：卒業し、農商務省に入ったが、

白馬会・・・1896＝24歳：外交官試験に合格して外務省に移る。

八幡製鉄始・1897＝25歳：仁川領事館勤務から出発、

Bushidou・・・1899＝27歳：

ロンドンなどに在勤ののち、

本省の電信・取調各課長、取調局長となり、

日露戦争終・1905＝33歳：

アヲキ\*創刊・1908＝36歳：

外国人顧問のアメリカ人デニソンに師事して外交事務に習熟し、屈指の英語力を磨いた。

明治天皇没・1912＝40歳：

第一次大戦始1914＝42歳：オランダ公使を務めた後、

21ヶ条要求・1915＝43歳：第2次大隈内閣の石井外相のもとで外務次官となる。

以後、4外相のもとで外務次官を続け、

ロシア革命・1917＝45歳：

第一次世界大戦の戦時外交・シベリア出兵・パリ講和会議の処理にあたった後、

ベルサイユ条約・1919＝47歳：駐米大使となり、カリフォルニア州の排日土地法問題に対処し、

原敬首相暗殺1921＝49歳：ワシントン会議では全権として活躍した。

護憲三派圧勝1924＝52歳：\*加藤高明憲政会総裁が護憲三派内閣をつくると、外交官試験合格者で最初の外相となる。

おりから中国では国民革命が発展中であったが、

円本時代始・1926＝54歳：中国の合理的立場の尊重、内政不干渉、日本の合理的権益の擁護を声明し、協調外交による国交改善を通じて日本の経済的利益の伸張と満州の特殊権益の維持を図ろうとした。関税問題では原則的に中国の関税自主権を認める代りに、日本からの綿製品や雑品については一時期低率の協定税率にとどめるという方針をとった。そして信頼する佐分利貞夫を通商局長に起用し、経済外交の推進に努めた。

金融恐慌・・・1927＝55歳：国民革命軍の北伐が南京、上海に迫るとイギリスは共同出兵を提議したが、これを拒絶し、他方で国共分裂を策した。だが軍部や枢密院は軟弱外交と攻撃し、金融恐慌もからんで憲政会内閣は倒れる。

世界恐慌・・・1929＝57歳：浜口雄幸民政党内閣ができると外相に復活したが、田中義一政友会内閣の出兵外交で悪化した日中関係の改善は困難で、ロンドン会議では海軍軍縮条約の調印に成功するも、統帥権問題が起り、

海軍軍縮条約1930＝58歳：浜口首相が狙撃され、首相代理となる。その後、満州問題の打開が困難になるなかで、

満州事変・・・1931＝59歳：\*関東軍が満州事変を起こすと、不拡大方針をとったが、逐次軍に引きずられ、倒閣・辞職した。

芥川直木賞始1935＝63歳：

日中戦争始・1937＝65歳：

その後は一貴族院議員にとどまったが、

日米開戦・・・1941＝69歳：

年金+総武装 1944＝72歳：

敗戦・・・1945＝73歳：\*敗戦後、占領軍の民主化政策の衝撃で東久迩稔彦内閣が倒れると首相に起用され、幣原内閣は占領軍の指令に追われながらも、

新憲法公布・1946＝74歳：みずから起草した"天皇人間宣言"詔書をだすなど天皇制の保持に努め、またマッカーサーの草案をうけ入れて戦争放棄と天皇制保持の憲法改正事業をすすめる。公職追放の嵐のなかで戦後最初の婦人参政の総選挙が行われ、自由党が第一党となったが、幣原は居すわりを策したのち、自由、社会、協同、共産4党の共同倒閣運動で退陣し、しばらく進歩党総裁となった。ついで大阪府から衆議院議員となり、

三大事件・・・1949＝77歳：衆議院議長となったが、

独立回復・・・1951＝79歳：\_没した。

「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、「日本の群像」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、